

一般社団法人全日本学生柔道連盟だより

第22号

2017年6月26日発行

編集・発行 総務委員会

会長就任にあたって

冲永 佳史

前会長の佐藤宣踐先生から引き継ぐ形で会長職を拝命いたしました。柔道に関しては右も左も分からない私にとっては、何もかもが目新しいこととして様々な事柄を経験させていただき、あっという間に1年という時間が経ったような気がします。

その間、副会長であられた高木長之助先生の突然の訃報に触れ、これから日学柔連の成り立ちの原点を確認し、そして目指すべき方向をご相談しようと思っていた矢先の出来事に、重要な人物の一人を亡くした無念とともに、ある種の失望感を持ったことは否定できません。しかしながら、佐藤宣踐先生をはじめ、白瀬、山崎副会長や網倉常務理事、西川事務局長、徳田事務局次長、その他多くの方々に温かく支えていただき、全くもって心強く感じていることもまた事実であります。

柔道界に対する世間の目は厳しい一方で、期待が大きいことも確かであり、それに応えるための活動を日学柔連としてどのように展開してゆくかについては、我々執行部のみならず、理事の皆様が今までとは少し違う視点で、柔道というものを見つめ、そこで気づいたことを共有し議論することで煮詰まったものが出てくると考えます。また、それに基づいて新たなことに挑戦することが、社会に信頼される日学柔連を形成し、社会に役立つ人材、そして競技者としての確たる技術と後輩

高木長之助 副会長 ご逝去

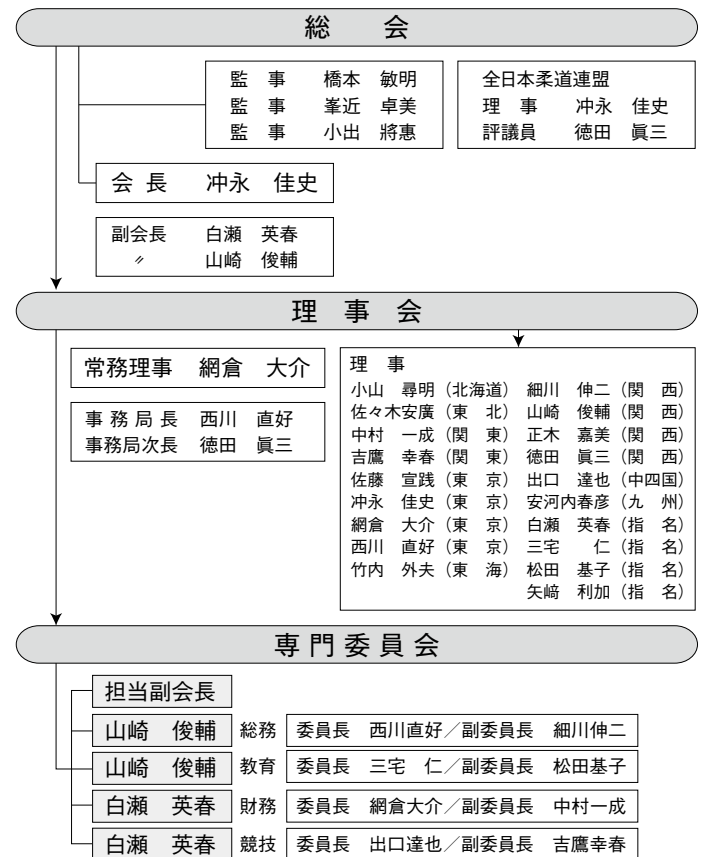


昨年12月6日に副会長である高木長之助先生がご逝去されました。先生は、平成15年より事務局長、常務理事、副会長として柘植会長、佐藤会長そして冲永会長と3代の会長とともに学生柔道執行部の舵をとられました。特に佐藤前会長との二人三脚で、財源及び経費の見直し、サポーター制度の導入、単位取得制度のスタートをはじめ様々な改革を成し遂げられ、柔道の普及と社会の為になる人材の育成に尽力されました。自らに厳しく何ごとも率先垂範し、常に次代を見据えて活動された先生の姿は連盟関係者である私たちに多くの感銘を与えました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げるとともに先生の生前のご指導に衷心より感謝し哀悼の誠を捧げます。

を導く力を持った人材を輩出することに繋がるでしょう。

前会長の時代から日学柔連では、大学柔道はプロ選手を抱えるところではなく、あくまでも教育的視点から柔道というスポーツを捉え、柔道競技者の輩出もさることながら、人生を生き抜くための心身の修養という側面を持つということを強調してまいりました。今後もその方針のもとに、柔道が国際スポーツとして発展した歴史を鑑みつつ、さらに注目されるスポーツとなるよう、心身の修養の場としての国際的な舞台の拡大を視野に入れた活動を含め、執行部始め皆様のご協力を賜りつつ、各種活動を進めてまいりたいと思いますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人 全日本学生柔道連盟組織図(2017)



正会員数(地区学生柔道連盟別・2017年6月23日現在)

北海道	東北	関東	東京	東海
17	20	38	47	30
北信越	関西	中国四国	九州	合計
19	53	33	30	287

【北海道】

平成28年度、当連盟の加盟状況は帯広畜産大学と名寄市立大学の退会により加盟17校、部員数296名と300名を切る状況でした。今年度も北星学園大学から退会の申し出がありますが、名寄市立大学から再加盟の打診があり、加盟校は17校の現状維持の状態です。全国的な傾向と言えるかもしれませんが当連盟といたしましても何とか加盟校数、部員数を増やす方法はないか検討をしていかなければならない状況です。

昨年11月に部員数減少でチーム編成ができないことから参加チームが減少していた北海道学生柔道新人大会を、これまでの団体戦から個人戦（有段の部無差別試合・無段の部無差別試合）に変えた第1回目（新人戦第52回）の大会が行われ、参加大学10校、参加人数90名と一昨年の大会より参加学年も2年生以下から3年生以下と変えたことでもあります。今年度も多くの参加が期待されます。

今年2年目となります北海道学生柔道連盟の賛助会員制度も昨年は、賛同者が少なく、今年度は関係者への周知を図り賛同者を増やしていきたいと考えております。当連盟では下記の5つの大会を予定しています。5月27日に全国大会の予選を兼ねて北海道学生柔道優勝大会、同じく全国大会の予選を兼ねて8月26日に北海道学生柔道体重別選手権大会、翌27日に北海道学生柔道体重別団体優勝大会、そして11月26日に北海道学生柔道新人大会と北海道学生女子柔道階級別選手権大会です。

役員の関係では、昨年4月19日に当連盟の名誉顧問であられ、昭和63年より15年間、北海道学生柔道連盟の会長を務められました櫻井 淳先生がご逝去されました。また、本年度役員改選があり、当連盟の参与で永年副会長を務められた畠中金雄先生が退任し、事務局長の十倉 宏先生が新しく副理事長に就きました。なお、今年度の役員（敬称略）は以下の通りです。

- 会 長 岩崎 満
- 副 会 長 丸山 淳士 工藤 正義
- 理 事 長 小山 尋明
- 副 理 事 長 岩井 眞 安達 昭弘（事務局長）
十倉 宏（新）
- 常 任 理 事 河合 一丸 阿部 眞久 松浦 英幸
森 洋一 今井 克俊
- 監 事 坂井 俊文
- 事 務 局 長 安達 昭弘（新）

北海道学生柔道連盟 事務局長 安達 昭弘

【東北】

東日本大震災から6年が経過し、復興に向かってはいる。しかし未だに震災の爪痕が残っている地域もある。



そういった状況の中で大学や地域、家族からの理解や協力を得ながら、柔道に打ち込める事は大変幸せな事であると感じている。今後も、柔道ができる事に感謝し稽古に精進していきたい。

1. 東北学連の現状について

さて、東北学生柔道連盟は、今年度（平成29年度）は役員改選の年ではないが、改選を来年度に控え調整の段階にはいっている。今年度も昨年度と同様に、加盟大学で上手く連携を取り合いながら活発な連盟の運営をしていきたい。柔道界では近年の18歳人口の低下や若者の柔道離れが影響して柔道人口が減少しているが、今年度の東北地区の学生競技者数はほぼ横ばいとなっている。今後も東北地区学連として、学生柔道の素晴らしさを広める事を一つの目標として活動していきたいと考えている。

また、事務局については、昨年度同様に、東北学院大学に事務局を置くが、従来通り宮城県内の大学が協力し合って事務局を運営していくことで各大学が確認している。それに加え、秋の体重別大会の開催地である秋田県内の大学にも大会運営について、これまでと同様に協力をいただくことになっている。

2. 今年度の大会予定

- ①東北学生柔道優勝大会
5月21日（日） 宮城県武道館
- ②東北学生柔道体重別選手権大会
9月2日（土） 秋田県立武道館
- ③東北学生柔道体重別団体優勝大会
9月3日（日） 秋田県立武道館

東北学生柔道連盟 事務局長 阿部 文智

【関東】

平成29年度に向けて

本年度は、昨年度に引き続き小俣幸嗣先生を会長とした以下の役員が構成され体制が整えられた。

会長：小俣幸嗣（筑波大学）、副会長：柏崎克彦（国際武道大学）、木村仁（神奈川大学）、野瀬清喜（埼玉大学）、西田孝宏（山梨学院大学）理事長：吉鷹幸春（桐蔭横浜大学）、副理事長：中村一成（防衛大学校）、越野忠則（国際武道大学）、理事：木村昌彦（横浜国立大学）、岩崎卓（流通経済大学）、岡田弘隆（筑波大学）、矢崎利加（国際武道大学）、廣川充志（桐蔭横浜大学）、山部伸敏（山梨学院大）、三宅仁（平成国際大学）、小山勝弘（山梨大学）、増地千代里（筑波大学）、高橋進（関東学園大学）、山田利彦（了徳寺大学）、秋山修一（城西国際大学）、野瀬英豪（淑徳大学）、増地克之（筑波大学）、監事：石井兼輔（国際武道大学）、事務局長：竹澤裕稔（関東学園大学）、事務局次長：宮本健治（清和大学）、本連盟の更なる発展のためにご尽力いただきたい。

さて、平成29年度の本連盟の主な事業計画は、5月21日関東学生柔道優勝大会（男子64回 女子23回）、8月26、27日関東学生柔道体重別選手権大会（男子56回 女子30回）の競技会の開催、年1回の審判講習会の開催及び海外研修の実施である。

昨年度は本連盟独自の海外研修の一環として企画されている香港国際大会への参加が実現できなかった。学生にとって諸外国で柔道の稽古・試合をするということは大変貴重な経験と言える。本年度は体制を整え、海外研修を再度実現させたい。

また、今年8月にハンガリー・ブダペストで開催される世界柔道選手権大会に本連盟に所属する63kg級の津金恵選手（筑波大学4年生）と能智亜衣美選手（筑波大学4年生）が団体戦の日本代表として選出された。チームの勝利に貢献できるよう期待したい。

（文責：事務局長 竹澤 稔裕）

【東京】

2017年度のスタートにあたり

昨年末、本連盟顧問で長きに亘り学生柔道連盟に尽力された高木長之助先生がご逝去されました。年頭にあたり、高木先生に感謝と哀悼の誠を捧げ、尚、今後においても役員一同、一致結束して、先生が残された数々の事業やシステムを継承し推進していく事を確かめ合い本年をスタートさせました。

同時に2020年の東京オリンピックに向けて、本年度も今一度、学生柔道の振興と発展という目的を踏まえ、正しい学生柔道の普及に一層努めていく所存です。

（組織運営）

連盟運営の方向性を示す「運営ガイドライン」を従来通り策定し、自主財源ベースの運営を目標におきます。

（財務状況）

現在、白瀬会長のリーダーシップのもと財務状況は安定しております。安定財源確保のために、佐藤元会長が提唱された「Come Back 柔道連盟サポーター（賛助会員）」は毎年多くのご加入を頂き、連盟事業にも会員の皆様に多数来場いただき実をあげております。さらにホスピタリティを向上させていきたいと考えております。

（教育普及）

これまで成果を挙げてきました海外研修事業も例年通り実施いたします。国際人の育成にも寄与する事業として連盟全体に波及させていく事も含めて、より充実させていきます。

また、学生柔道の裾野を広げ、かつ技術的な向上を目的として事業化しております「柔道出前講座」も定着しており、本年も開催予定です。さらに社会貢献・奉仕の心を養うために、例年通り全国視覚障害者柔道大会の運営協力も行う予定であります。

本年度も学生役員を軸とした運営を心がけ、新事業にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

学生役員より

私たち東京学生柔道連盟では、4年生が6名、3年生が1名、2年生が3名の計10名の学生が大学の代表であるという自覚を持ち、学業との両立を図りながら、日々活動を行っております。

今年度は国際柔道連盟のルール改正により、今までの柔道のルールとは大きく変わりました。

有効ポイントと合技の廃止、男子の試合時間を4分間へと短縮、指導3での反則負けなど、大きなルール変更となりました。

しかし、このルール改正に伴い、当連盟の主管する4大会でも、新ルールを準用することが決まりました。新ルールへの対応に向けて、各大学から質問等が多く寄せられますが、ルールの変更点をまとめた資料を配布させて頂き、どなたでも分かりやすく新ルールへの理解を深めて頂けるように取り組ませて頂いております。

また、2020年の東京オリンピックに向けて、当連盟も今年度よりFacebookの開設の準備を進めております。世界的なSNSであるFacebookから情報を発信することで、外国の方はもちろん、様々な人が柔道に興味を持っていただけたら幸いです。学生柔道から柔道界を盛り上げていけるよう、学生委員一丸となって精一杯準備を進めていきます。

各地区学生柔道連盟並びに関係者の皆様には今後一層のご理解、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。

東京学生柔道連盟 学生委員長 神崎 孝仁

【東海】

東海学生柔道連盟は、平成28年度において、本連盟規約の一部を改正・施行し、新たな役員体制でスタートしました。主な改正点として、「目的」を「学生柔道の発展向上と加盟大学校及び関係相互の融和」から、その趣旨を踏まえつつ「全日本学生柔道の趣旨への賛同し、東海地区における柔道の普及と振興を図り、柔道の発展に寄与すること」とし、学生柔道組織としての役割を明確にしたこと。また、連盟の運営担う「役員」を理事長及び副理事長に加え、理事長が指名し、これまで理事長が担ってきた会議、行事及び大会開催等の企画・運営を担当する事務局長、事務局次長の役職を設けたことが挙げられます。加えて、意思決定機関を「総会」を「理事会」へ、これまでの「理事会」を「常任理事会」へと改めました。

そして、同年度の「全日本学生柔道連盟だより」で紹介させていただいた、「組織体制の改革や大会運営方法の見直し、新たな事業展開などを見据えて、東海学生柔道の活性化を目指して改善を進め、若手役員を中心とし、東海地区学生柔道の更なる発展と活発な組織の持続性を意識しての尽力すること」というコンセプトを掲げ、運営に取り組んでまいりました。

また、「目的」の具現化の新たな取組みとして、これまで積極的に行っていなかった合同練習会を12月の土曜日3週に渡って開催しました(12/3、10、17)。具体的には、男子1部及び女子のある大学を中心に、中京大学や名古屋商科大学、米田柔整専門学校の柔道場をお借りして取り組みました。愛知県内の実業団チームの選手も加わり活気のある練習会となりました。ただ、参加者が多すぎる場合や男女混在する場合など、安全に配慮しつつ参加者が最後まで集中して取り組めるよう稽古方法に工夫を凝らすことが必要であると感じました。今回の取り組みをきっかけに、合同練習会を継続することと、毎年改善を重ねていけるよう努めたいと思います。また、参加者を学生に限定することなく実業団や高校にも輪を広げ、柔道を通じた世代間交流を図ることも一考かと考えています。引き続き東海地区のレベルアップを図っていきたいと思います。

○ 行事予定

5月21日(日) 於：愛知県武道館

第64回 東海学生柔道夏季優勝大会

第24回 東海学生女子柔道夏季優勝大会

8月27日(日) 於：愛知県武道館

第36回 東海学生柔道体重別選手権大会

第34回 東海学生女子柔道体重別選手権大会

9月2日(土) 於: 中京大学武道場
全日本学生柔道体重別団体優勝大会
(男子19回 女子9回) 東海選考会

11月19日(日) 於: 愛知県武道館
第65回 東海学生柔道冬季優勝大会
第10回 東海学生女子柔道冬季優勝大会
東海学生柔道連盟・事務局長 福井 博泰

【北信越】

<北信越学生柔道連盟役員>

会 長 鈴木三郎

副 会 長 大柿 実・玉田善明・阿部高弘・
山岸巖太郎・松永大吾・諏訪部仁・
埜谷 勉・高嶋 健・紐野義昭・野本正人・
武田秀則・南谷直利

理 事 長 吉見浩二

副 理 事 長 渡辺直勇(兼事務局長)

<本年度大会予定>

5月21日 平成29年度北信越学生柔道優勝大会
男子66回・女子26回
(福井県立武道館)

9月2日 平成29年度北國杯北信越学生柔道体重別選手権大会
男子36回・女子29回
(石川県立武道館)

9月3日 第19回北信越学生柔道体重別団体優勝大会
(石川県立武道館)

11月18日 第14回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会
～19日 (石川県松任総合運動公園体育館)

<その他行事予定>

5月20日 北信越学生柔道連盟常任理事会、
理事会及び役員総会
(福井県立武道館)

8月 北信越学生女子柔道夏期強化練習会
(富山県塩谷建設柔道場)

8月 北信越学生柔道夏期強化練習会
(長野県警察学校柔道場)

9月 北信越学生女子柔道夏期強化遠征
(未定)

2018年

2月14日 北信越学生柔道連盟常任理事会・懇親会・
北信越武道学会
(石川県北陸大学)

3月 北信越学生女子柔道春期強化練習会
(石川県金沢学院大学柔道場)

平成28年度は、北陸大学(男子)、金沢学院大学(男子・女子)が各団体戦の優勝を果たした。本連盟による、年3回程度の強化練習会と年1回の女子強化遠征を実施する予定である。北信越武道学会において、学柔連海外研修参加学生の報告発表も行いたい。北信越地区内の大学間の交流を深め、学術・競技レベルと相互協力を高める為の一助としたい。

北信越学生柔道連盟事務局

【関西】

1. 平成29年度関西学生柔道連盟行事予定

5月21日(日)

第67回 関西学生柔道優勝大会

第25回 関西学生女子柔道優勝大会

(バイコム総合体育館 [尼崎市記念公園])

9月3日(日)

第36回 関西学生柔道体重別選手権大会

第29回 関西学生女子柔道体重別選手権大会

(天理大学柚之内第一体育館)

10月28日(土)・29日(日)

全日本学生柔道体重別団体優勝大会

(男子19回 女子9回)

(バイコム総合体育館 [尼崎市記念公園])

2. 本年度の抱負

昨年に引き続き、佐野会長を中心に、柔道界のさらなる躍進につながるよう、当連盟の運営に取り組んでおります。

その一例として、「MIND」の精神に基づいて、前年度から継続し、大会会場の使用マナー向上に取り組んでおります。当連盟主催大会においても、ペットボトルに大学名を記載し、責任をもって個々で管理したり、各大学でゴミ袋を持参し、ゴミの削減と散乱を防止したり、大会終了後には学生係員だけでなく、全員でゴミ拾いを行うという取り組みを実施しております。昨年度は大会終了後、役員選手関係なく片付けに協力していただいたことで、短時間で会場整理を行うことができました。本年度は、今まで以上に盛り上がる素晴らしい大会が開催できるように、より一層の努力を行いたいと考えております。

最後に、大会を運営するにあたっては、我々学生のみならず、役員の先生方やその他さまざまな方々の多大な協力をいただいております事を、この場を借りて感謝申し上げます。

当連盟はこれからも、円滑な大会運営等、関係諸活動に対して積極的に取り組んでいきたいと考えておりますので、本年度もよろしくお願い致します。

3. 連盟役員の紹介

会 長 佐野 修弘

副 会 長 近藤 徹

中治 洋一

細川 伸二

山崎 俊輔

理 事 長 正木 嘉美

【中国四国】

2017年度は、新たに高知県立大学が加盟し、総勢33大学で活動することとなりました。引き続き、33大学をよろしくお願いいたします。

さて、1月29日に常任理事会を開催し、平成29年度の行事等が決定されました。強化合宿も予定しておりますので、ぜひご参加いただきますようよろしくお願いいたします。

(平成29年度 中国四国学生柔道連盟 行事予定)

4月8日(土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会 (岡山商科大学)

5月13日(土)～14日(日)

中国四国学生柔道連盟 理事会・総会

中国四国学生柔道優勝大会

中国四国学生女子柔道優勝大会 (岡山県立武道館)

7月15日(土)

中国四国学生柔道連盟 定例幹事会

(周南総合スポーツセンター)

8月26日(土)～27日(日)

中国四国学生柔道体重別選手権大会

中国四国学生女子柔道体重別選手権大会

中国四国学生柔道体重別団体優勝大会

(周南総合スポーツセンター)

9月上旬・2月下旬

中国四国学生柔道連盟 男女強化合宿

中国四国学生柔道連盟 事務局長 梶津 良仁

【九州】

平成29年度定例総会を5月27日に開催し、議題は全てご承認いただき可決決定いたしました。

第66回九州学生柔道優勝大会・第26回九州学生女子柔道優勝大会を5月27・28日に福岡武道館において、男子21校(210名)・女子11校(59名)が参加して熱戦が繰りひろげられました。2部の大会に於いては、九州大が初優勝し二位に熊本大が翌日の入替え戦に挑戦いたしました。1部昇格にはなりません。

男子1部及び女子の結果は次の通りです。男子 優勝 福岡大(3年ぶり41回目)。女子5人制優勝 鹿屋体育大(2年連続2回目)・3人制優勝 別府大(20年ぶり2回目)。6月に開催されます全国大会に九州からは、男子5校(福岡大・鹿屋体育大・福岡大・日本文理大・熊本学園大・東海大九州)、女子5人制3校(鹿屋体育大・福岡大・九州共立大学)、3人制3校(別府大・福岡教育大・福岡工業大)が出場致します。選手諸君の健闘を祈ります。

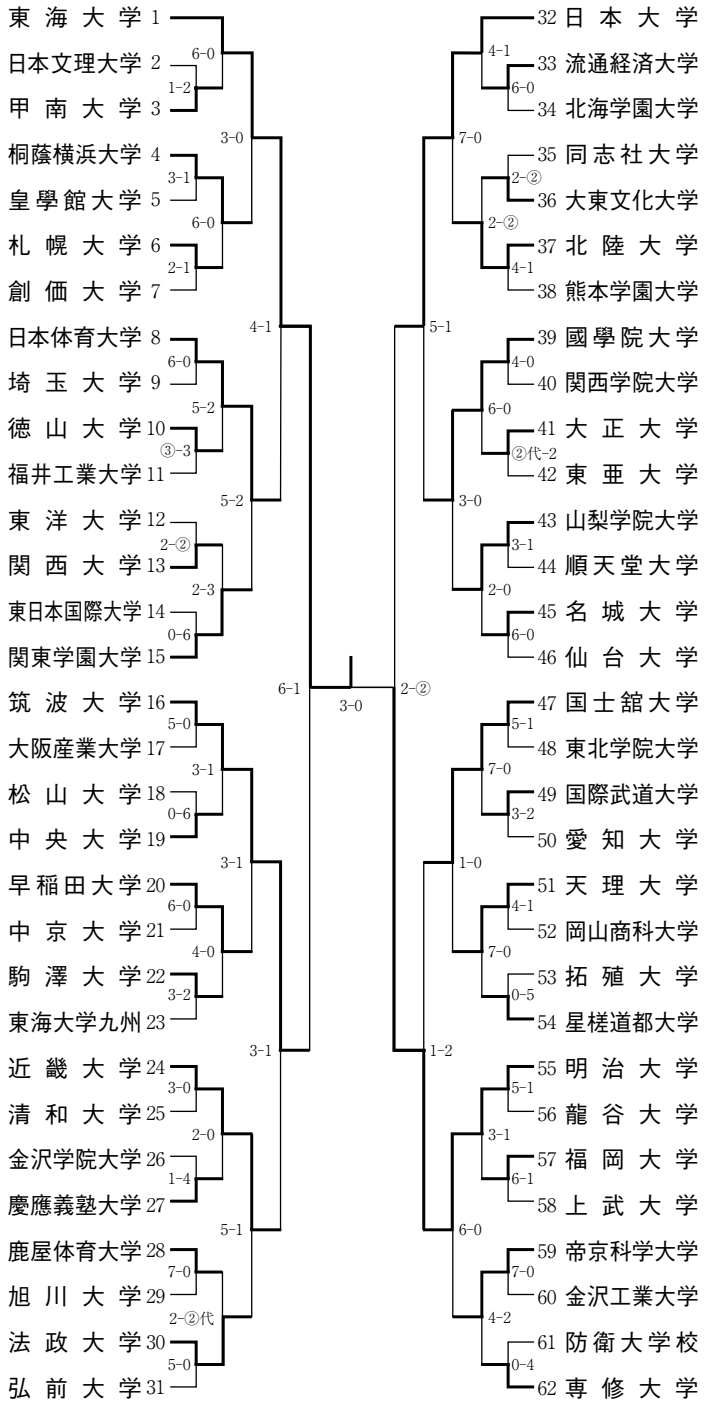
※役員及び29年度の九州地区の行事は次の通りです。

会 長	藤田 弘明
副 会 長	筑紫 仁、園田 勇、中原 一
理 事 長	安河内春彦
副理事長	小澤 雄二、清水 克巳
事務局長	野田 修
5月27日(土)	平成28年度定例総会
5月27日(土)	第66回九州学生柔道優勝大会 2部
5月28日(日)	第66回九州学生柔道優勝大会 1部 第26回九州学生女子柔道優勝大会
9月2日(土)	第31回九州学生女子柔道体重別選手権大会
9月2日(土)	第61回九州学生柔道体重別選手権大会
9月3日(日)	

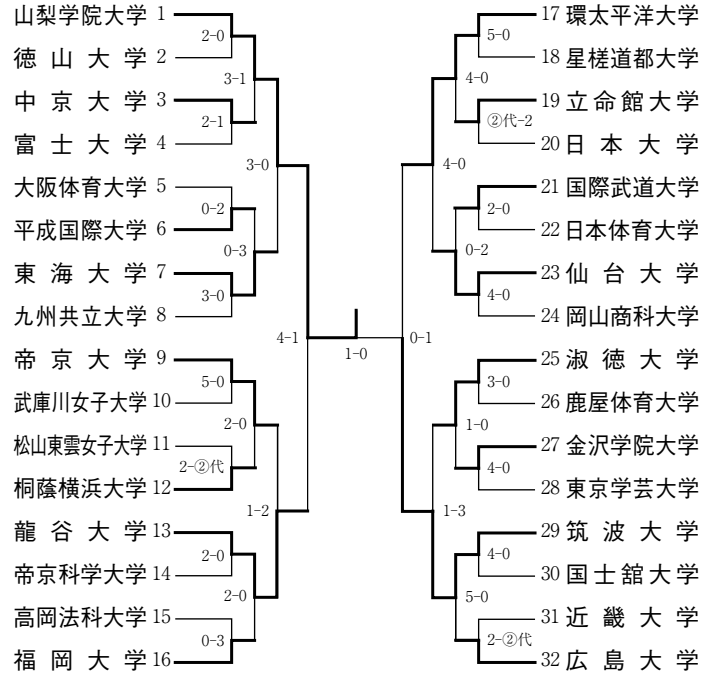
平成29年度全日本学生柔道優勝大会(男子66回 女子26回)

— 6月24・25日 開催 —

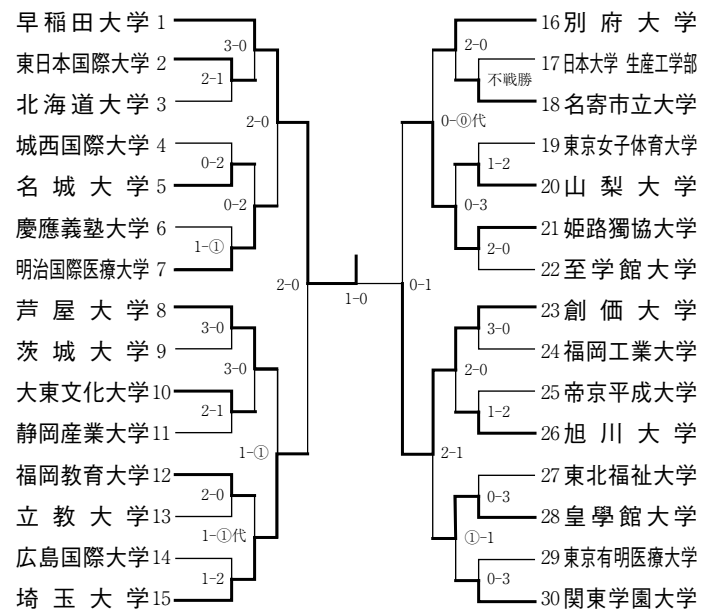
男子団体対戦表



女子団体5人制対戦表



女子団体3人制対戦表



一般社団法人 全日本学生柔道連盟 (ALL JAPAN UNIVERSITY JUDO FEDERATION)

事務所 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

E-mail:gakujuren@gakujuren.or.jp URL:http://www.gakujuren.or.jp